

女子大学生が運営に携わるこども食堂 第2回おいでよ！こわかわくわく食堂を開催しました

京都光華女子大学/京都光華女子大学短期大学部（学長：高見 茂）では、校訓「真実心」のもと、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、「人々の“健康”と“未来”を創造する女子大学」創りを進めています。その社会実装として、2月12日（月・祝）に本学学生食堂において地域の子どもをお招きした「第2回おいでよ！こわかわくわく食堂」を開催しました。

■ 地域交流の活性化、子どもの居場所づくりが目的

本学では地域交流の場、子どもの居場所づくりを目的とした「こども食堂」を昨年8月に初めて実施しました。第2回目となる今回は、“誰もがワクワクできる場所に”をテーマに、学年や学部を超えた学生と教職員が、子どもたちの居場所作りに取り組みました。健康栄養学科の学生12名、社会福祉専攻の学生1名と経営学・地域福祉の専門家、給食マネジメントの専門家などの教員が協力し、それぞれの専門性を活かしながら、多職種が連携する本学ならではのこども食堂を目指し開催しました。



当日の様子

■ 52名が参加、食事やSDGsにつながる企画を実施 ～JA京都中央様から提供いただいた野菜を活用～

参加者目標50名に対し、当日は子ども26名、大人26名の計52名が参加しました。子どもたちに野菜を好きになってほしいという思いから、当日は「野菜クイズツアー」と「野菜スタンプ」を実施しました。昼食は冬野菜を使い、健康栄養学科の学生が考案した食事メニュー（冬野菜シチュー、オープンオムレツ、パン）を提供しました。「野菜スタンプ」で使用した布は旗（のぼり）として今後のこども食堂でのイベントのシンボルとして使用します。また、食事メニューや野菜スタンプ・野菜クイズツアーで使用した野菜については、JA京都中央様から提供していただいた規格外野菜を活用し、SDGs（フードロスの削減）に繋げることができました。

■ 参加者からは「また来たい！」の声も。学生にとっても大きな学びに繋がった。

当日の実施後アンケートでは回答者の全員から「また来たい」という回答をいただきました。また、「近所で楽しめるイベントがあって嬉しい」「子どもの苦手な野菜も知らない間に食べていた」などといった好意的な声をたくさんいただきました。今回、企画・運営を行った学生も「こどもに寄り添ったこども食堂のあり方を学ぶことができた」「話し合いから『形』にすることが出来た」とコメントしており、今回の取り組みが学生にとっても大きな成長の場となりました。

■ イベント詳細

【日程】2月12日（月・祝）11:00～14:00

【場所】京都光華女子大学 瑞風館食堂（京都市右京区西京極葛野町38）

【内容】料理：冬野菜シチュー、オープンオムレツ、パン

イベント：野菜スタンプ、野菜クイズツアー

【来場者】52名 内訳：16家族（こども26名、保護者26名）

次回（第3回目）については5月26日（日）の開催を予定しております。

報道各社におかれましては、ぜひ、この活動について、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp

[URL] <https://www.koka.ac.jp/>



Well-Being を実現する健康・未来創造キャンパスへ

京都光華では、これまで80余年にわたって仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。その根幹にあるのは校訓「真実心」。世界が目指す「持続可能な社会」に通じる重要な考え方です。私たちは、この理念によって立ち、すべての人が健やかに暮らせる“Well-Being”な未来の実現を目指し、学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えてまいります。